

藤沢市教育委員会定例会(5月)会議録

日 時 2002年5月10日(金)午後2時
場 所 新館7階第3会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
 - (1) 藤沢市青少年問題協議会委員の任命について
 - (2) 藤沢市体育指導委員の委嘱について
- 5 議 事
 - (1) 議案第5号 藤沢市教科用図書採択審議委員会委員の委嘱又は任命について
 - (2) 議案第6号 藤沢市公民館運営審議会委員の委嘱について
 - (3) 議案第7号 藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の任命について
- 6 その他
 - (1) 江の島展望灯台建替えに伴う埋蔵文化財発掘調査地の市民見学会開催状況報告について
 - (2) 第52回藤沢市展について
 - (3) 財団法人藤沢市青少年協会平成14年度事業計画について
 - (4) 財団法人藤沢市スポーツ振興財団平成14年度事業計画について
- 7 閉 会

出席委員

1 番	中 村	喬
2 番	數 野	隆 人
3 番	安	咸 子
4 番	平 岡	法 子
5 番	川 島	一 明

出席事務局職員

学校教育部長	小 野 晴 弘	生涯学習部長	金 井 正志郎
学校教育部参事	福 島 勝 也	学校教育部参事	種 部 弘
生涯学習部参事	齋 藤 潔	生涯学習部参事	河 野 欣 昭
生涯学習部参事	渡 辺 恭 博	生涯学習部参事	田 中 正 男
総合市民図書館長	植 木 正 敏	教育総務課主幹	高 橋 章
教育総務課主幹	大 橋 久 高	学務保健課長	落 合 英 雄
学務保健課主幹	渡 貫 洋	学校教育課長	新 井 泰 春
学校教育課主幹	下 村 修 市	教育文化センター長	飯 島 広 美
学校施設課長	田 中 章	学校施設課主幹	保 坂 純 彦
学校施設課主幹	尾 嶋 良 二	生涯学習課主幹	上 田 育 夫
生涯学習課主幹	太 田 昌 治	村岡公民館長	天 田 又 之
六会公民館長	広 田 良 雄	総合市民図書館主幹	宇田川 ひろみ
総合市民図書館主幹	島 村 利 征	総合市民図書館主幹	小 野 雅 弘
総合市民図書館主幹	池 田 邦 臣	スポーツ課主幹	飯 島 和 男
スポーツ課主幹	酒 井 一 二	スポーツ課主幹	鈴 木 利 吉
スポーツ課主幹	笠 間 忠 雄	書 記	桜 井 範 幸

	午後2時00分 開会
委員長	ただいまから藤沢市教育委員会5月定例会を開会いたします。
++	÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷
委員長	まずはじめに、本日の会議録に署名する委員は3番 安委員、4番 平岡委員にお願いしたいと思いますが、御異議ありませんか。
	(「異議なし」の声あり)
委員長	それでは、本日の会議録に署名する委員は3番 安委員、4番 平岡委員にお願いいたします。
++	÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷
委員長	続きまして、前回の会議録の確認をお願いします。
	何かありますか。
	特にありませんので、このとおり了承することに御異議ありませんか。
	(「異議なし」の声あり)
委員長	それでは、このとおり了承することに決定いたします。
++	÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷
委員長	続きまして、教育長報告に入ります。
	一括して報告をお願いいたします。
委員	それでは教育長報告をいたします。藤沢市青少年問題協議会委員の任命について以下の2件につきまして、一括して御報告申し上げます。
	まず1点目の藤沢市青少年問題協議会委員の任命についてを御説明いたします。議案書の1ページをお開きください。このことにつきましては、学識経験者の委員に変更が生じたため、その残任期間となります2002年4月23日から2002年12月31日までを任期として任命させていただいたもので任命させていただいた方のお名前は記載のとおりでございます。
	続きまして、2点目の藤沢市体育指導委員の委嘱についてを御説明いたします。議案書2ページをお開きください。このことにつきましては、委員が2002年3月31日をもって任期満了となりましたことに伴い、新たに藤沢市体育指導委員を委嘱させていただいたもので、委嘱させていただいた方々のお名前は記載のとおりで、その任期は2002年4月1日から2004年3月31日までの2年間でございます。
	以上で報告事項につきましての説明を終わらせていただきますが、藤沢市の青少年の育成やスポーツの振興に対しまして御協力いただく皆様でございますので、よろしく御願い申し上げます。
委員長	ただいまの教育長報告につきまして、御意見・御質問がございましたら御願いいたします。
委員	スポーツ振興法第19条第2項に「スポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行なう」とありますが、具体的にはどんな実技指導が行われていますか。
生涯学習部参事	具体的な指導と言いますのは、例えばニュースポーツ等が始まる場合に、体育指導委員がその講習を受けて、それぞれ35の地域へ戻ってそのスポーツを指導するというものでございます。年齢構成からいきますと市内にいらっしゃる210人の体育指導委員のうち、半分近くが50歳代と一番多いのです。今、50歳代といいますが、まだまだ若い世代になってきておりますので、地域でリーダーシップを持って指導していただいております。
委員	体育指導委員の「新任再任の別」のところ、「再任」の方がかなり大勢いられるのですが、同じ人が余り長い間、体育指導委員を続けるということではなくて、できるだけ幅広く新しい人を入れていくというような点から、何期まで再任できるというようなことについての内規があるのかお伺いします。
	特に内規というものはございませんが、現実的に体育指導委員と

生涯学習部参事	<p>というのは大変なお仕事です。そういう中で体育指導委員になっていただける方を探すことの方が非常に厳しい状況でございます。2年という任期でありますけれども、再任をお願いするということで、今回も新しく入られた方が210人中48人(23%)という中で、御指摘のように、多くの方に経験していただければいいと思っております。</p>
生涯学習部長	<p>少し補足させていただきます。現状は、今、田中生涯学習部参事が述べたとおりでございますが、将来的には生涯学習大学構想の中で、人材を養成・育成していくということも検討すべきではないかと思っております。</p>
	<p>ほかに御意見、御質問はありませんか。 特にないようですので、報告どおり了承することにいたします。</p>
委員長	<p>これより議事に入りますが、4月定例会で、小学校におきますコンピュータの稼動状況に関する質問がございました。これに関しまして事務局の答弁を求めます。</p>
委員長	<p>小学校におけるコンピュータの稼動状況でございますが、平成13年度のトータルでお答えさせていただきたいと思っております。各校の使用につきましては、多少の差はありますが、35校平均しますと、1校当たり週5時間の使用となっております。これを年間にしますと、35週としまして、175時間が1年間の平均的な時間となります。市内小学校の平均クラス数は約18クラスですので、1クラス当たりの1年間の使用時間は約10時間ということが言えるかと思っております。今現在、小学校では10台体制ですが、2学期から30台体制になりますので、稼働率は今後増えていくと思っております。</p>
学校教育課長	<p>ただいまの答弁につきまして、御意見・御質問がございましたらお願いいたします。 現実の状況については説明があったのですが、理想的な使用実績の目標値についてはどのようにお考えになっているのか知りたいと思っております。</p>
委員長	<p>1クラスの児童生徒が何時間ぐらいを目標にするのかということについての目標値はあえて設定しておりません。ただ学習指導要領の中ではさまざまな教科の中でコンピュータを利用して知識、理解あるいは情報を得るための手助けとなるためのコンピュータ利用をうたっております。したがって、コンピュータはそれを使用することが目的ではありませんので、それを使用することによってどれだけ情報を得たり、情報を活用したり、新しい学習といったものができるわけで、それは各学校の創意工夫の中でやっていただきたいと考えております。ただ1年から6年生まで発達段階に即して平均的にコンピュータを利用する機会があるということで各学校を指導してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>特にないようですので、議事に移らせていただきます。</p>
	<p>議案第5号藤沢市教科用図書採択審議委員会委員の委嘱又は任命についてを上程いたします。事務局の説明を求めます。</p>
委員長	<p>議案第5号藤沢市教科用図書採択審議委員会委員の委嘱又は任命についてを別紙のとおり説明する。 事務局の説明が終わりました。議案第5号につきまして御意見・御質問がありましたらお願いいたします。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>昨年の教科用図書採択審議委員会委員名の公開については、8月15日までは公開しなかったと思いますが、今年は委員の氏名の公表についてはどのようになるのか御説明いただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>教科用図書採択にかかわっての公開性、透明性が求められていることは御存じのとおりだと思います。事務局としましては、情報公開の流れの中で、できるものは可能な限り公開していくという方向で考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>具体的にどのように公開なさるのか、その中身を知りたいと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>昨年度は、確かに委員のおっしゃるとおりだったと思います。その委員名の公表につきましても、審議する過程において支障がないということが判断できれば公開していきたいと考えております。それから審議の内容についても差し障りがないということが判断できました時点で公開してまいりたいと考えております。</p>
<p>委員 学校教育課長</p>	<p>ほかにありませんか。 ないようですので、原案どおり決定することに御異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、議案第5号藤沢市教科用図書採択審議委員会委員の委嘱又は任命については、原案どおり決定いたします。 =====</p>
<p>委員長</p>	<p>次に、議案第6号藤沢市公民館運営審議会委員の委嘱についてを上程いたします。事務局の説明を求めます。</p>
<p>委員長</p>	<p>議案第6号藤沢市公民館運営審議会委員の委嘱についてを別紙のとおり説明する。</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局の説明が終わりました。議案第6号につきまして御意見・御質問がありましたらお願ひいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>学校教育の関係者ですと、転勤等によって地区が変わることがございますけれども、そういう場合には新しく勤務をなさるところの地区ではない前の勤務地の運営審議会委員を継続して行うというふうになっているのでしょうか。</p>
<p>生涯学習部参事</p>	<p>公民館運営審議会委員につきましては、各公民館の運営審議会委員という形になっておりますので、例えば六会の地域内の校長先生が転勤をされて、新たなところに行かれたということになりますと、六会公民館の学校の先生を新たに任命するという形でございますが、議案書にございます小池先生につきましては、そのような形になっております。したがって、任命替えという形になります。</p>
<p>委員長</p>	<p>欠員が生じたことによってということですが、小池先生は再任となっておりますが、その辺御説明いただけますか。</p>
<p>委員</p>	<p>小池先生につきましては、六会公民館でやっておりましたけれども、公民館運営審議会委員とすれば再任という形になるわけですが、地区が変わったということでございますので、よろしく御理解賜りたいと思います。</p>
<p>生涯学習部参事</p>	<p>先ほどの体育指導委員のときの質問と同じでございますが、公民館運営審議会委員に関しては、多くの方が再任されるというような批判を私はたびたび聞きますので、この再任に関しても、やはり内規のようなものをつくって、再任は何期までというようなことをお考えになってもよろしいのではないかと思います。これはあくまでもアドバイスですけれども、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの体育指導委員のときの質問と同じでございますが、公民館運営審議会委員に関しては、多くの方が再任されるというような批判を私はたびたび聞きますので、この再任に関しても、やはり内規のようなものをつくって、再任は何期までというようなことをお考えになってもよろしいのではないかと思います。これはあくまでもアドバイスですけれども、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>生涯学習部参事</p>	<p>先ほどの体育指導委員のときの質問と同じでございますが、公民館運営審議会委員に関しては、多くの方が再任されるというような批判を私はたびたび聞きますので、この再任に関しても、やはり内規のようなものをつくって、再任は何期までというようなことをお考えになってもよろしいのではないかと思います。これはあくまでもアドバイスですけれども、よろしくお願ひいたします。</p>

委員	<p>条例、規則ということではないのですが、公民館運営審議会委員の再任につきましては、3期までというようなことを決めております。また6名のうち1名につきましては、公募という形で運用させていただいております。</p>
生涯学習部参事	<p>ほかにありませんか。 ないようですので、原案どおり決定することに御異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり) それでは、議案第6号藤沢市公民館運営審議会委員の委嘱につきましては、原案どおり決定いたします。</p>
委員長	<p>===== 次に、議案第7号藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の任命についてを上程いたします。事務局の説明を求めます。 議案第7号藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の任命についてを別紙のとおり説明する。</p>
委員長	<p>事務局の説明が終わりました。議案第7号につきまして、御意見・御質問がありましたらお願いいたします。 特にないようですので、原案どおり決定することに御異議ありませんか (「異議なし」の声あり)</p>
委員長	<p>それでは、議案第7号藤沢市青少年相談センター運営協議会委員の任命については、原案どおり決定いたします。</p>
生涯学習部参事	<p>次に、その他に入らせていただきます。 はじめに(1)江の島展望灯台建替えに伴う埋蔵文化財発掘調査地の市民見学会開催状況報告について、事務局の説明を求めます。</p>
委員長	<p>日程資料の11ページをお開きいただきたいと思います。江の島展望灯台建替えに伴う埋蔵文化財発掘調査地を去る4月25日に市民による見学会を催しました。その状況を御報告させていただきます。</p>
委員長	<p>この事業主体は江ノ島鎌倉観光株式会社で、その所有地にある現展望灯台が50年近くたっているために、建替えるという大きな事業でございます。その新たな建設予定地について発掘調査を行ったものです。面積は880平方メートルで、調査期間は2月中旬から5月末を予定しております。調査の結果、縄文前期の遺跡、遺物が発見され、約9,000年前のものというような発表がされております。住居跡が3カ所、小さい矢じりとかすり石、石皿、それから火を燃やした跡が4カ所見つかっております。また1万点ほど出土品があるのですが、8割が礫といって石ころが中心ですが、数多く出ております。</p>
生涯学習課主幹	<p>当日の見学者は合計642人で、詳細は資料のとおりです。また、学校の授業として、小学校の5校が4月26日に見学を行い、総計1,153人がおいでになりました。</p>
委員長	<p>事務局の説明が終わりました。御意見・御質問がありましたらお願いいたします。 この結果については新聞等で読んだのですが、この見学会を行うということの広報はどのようになされたのか、お伺いします。 4月16日午後、現地におきまして記者発表を行い、新聞・テレビをお願いしてのPRを行いました。 縄文早期の住居跡が見つかったということの重さというか、価値はどう</p>

	<p>いうものなのか、現段階でわかればお聞きしたい。</p> <p>これから調査をもう少ししてみないとわからないという話は聞いております。専門家の分析・判断を待ちまして、またこれは報告書も逐次つくっていく予定になるかと思えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>見たかったけれども、見れなかったという人が大変多いと思うので、これから工事にかかわって難しい部分もあるかもしれないけれども、これからも公開していく予定がありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>そのようなお声も少しあったのですが、大変残念ですが、工事の進展状況の中では随時見ていただくという状況にはございません。事情によっては特別に考えるのも不可能ではないと思えますが、基本的には難しいという状況でございます。</p>
<p>生涯学習課主幹</p>	<p>ほかにありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>ないようですので、この件は了承することにいたします。</p>
<p>生涯学習課主幹</p>	<p>===== 次に、(2)第52回藤沢市展について、事務局の説明を求めます。</p>
<p>委員</p>	<p>第52回藤沢市展につきまして、お手元の資料に基づきまして御説明申し上げたいと思えます。</p>
<p>生涯学習課主幹</p>	<p>市民の芸術文化の普及と向上を図るため、美術・書道・写真各部の作品公募を行い、その創作活動を活発にするとともに、華道を含めた総合美術展を開催し、発表と鑑賞の場とすることを趣旨といたしまして、第52回藤沢市展を開催するものでございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>主催は、第52回藤沢市展実行委員会・藤沢市教育委員会でございます。実行委員会といたしましては、各部からそれぞれ4名の実行委員を選んでいただき、16名で構成しております。</p>
<p>委員長</p>	<p>会期は、2002年5月21日(火)から6月9日(日)までで、開館時間は午前10時から午後7時まで。ただし月曜日は休館日となっております。また日曜日につきましては午後5時までとさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>会場は、藤沢ルミネプラザ6階の藤沢市民ギャラリーでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>展示作品は、美術・書道・写真各部の一般公募作品(入選作品)及び協会の作品、さらに華道の部につきましては、協会作品を展示する予定です。</p>
<p>委員</p>	<p>日程につきましては資料のとおりです。</p>
<p>委員</p>	<p>ただいまの説明に関しまして、御意見・御質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>市展は年に1回やっていて、52年も続いているわけです。毎年何か新しいものを加えていった方がよろしいのではないかと考えておられて、今年度は特にどのような仕かけを考えておられるのか、質問したいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>これまで3回ほど実行委員会を開催させていただきまして、委員御指摘の件につきましては、実行委員も承知しておるわけですが、現在のところ、新たな、特別な催しという形の提案はいただいていないというのが実情でございますので、内容的には例年どおりの形になるかと思っております。ただこれからも実行委員会が開催されますので、この場での御意見につきましては、実行委員にお伝えしていきたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>第52回も例年どおりの形になっておりますが、市民が選ぶ市民賞があってもいいのではないかとか合同展をやったらどうかというような御意見も出ておりますが、やはり52回という藤沢市の伝統市展という経過もございまして、各市にはない伝統的な市展だとか集客力があるとか、その辺で議論をしながら、今回は例年どおりでございますが、そういうようなことを今後検討していくことも必要だという声は上がっております。</p>
<p>委員</p>	<p>審査委員が自分の弟子の中から選ぶというようなことはできるだけ排除して、なるべくいろいろな作風のものを選ばれる。こういうようなところを仕かけとして工夫なさったらいかがなものかと思っておりますので、よ</p>
<p>委員</p>	<p>===== 次に、(2)第52回藤沢市展について、事務局の説明を求めます。</p>
<p>委員</p>	<p>第52回藤沢市展につきまして、お手元の資料に基づきまして御説明申し上げたいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>市民の芸術文化の普及と向上を図るため、美術・書道・写真各部の作品公募を行い、その創作活動を活発にするとともに、華道を含めた総合美術展を開催し、発表と鑑賞の場とすることを趣旨といたしまして、第52回藤沢市展を開催するものでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>主催は、第52回藤沢市展実行委員会・藤沢市教育委員会でございます。実行委員会といたしましては、各部からそれぞれ4名の実行委員を選んでいただき、16名で構成しております。</p>
<p>委員</p>	<p>会期は、2002年5月21日(火)から6月9日(日)までで、開館時間は午前10時から午後7時まで。ただし月曜日は休館日となっております。また日曜日につきましては午後5時までとさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>会場は、藤沢ルミネプラザ6階の藤沢市民ギャラリーでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>展示作品は、美術・書道・写真各部の一般公募作品(入選作品)及び協会の作品、さらに華道の部につきましては、協会作品を展示する予定です。</p>
<p>委員</p>	<p>日程につきましては資料のとおりです。</p>

<p>生涯学習部長</p>	<p>ろしくお願ひしたいと思ひます。 ほかにありませんか。 ないようですので、この件を了承することにいたします。 =====</p>
<p>委員</p>	<p>次に、(3)財団法人藤沢市青少年協会平成14年度事業計画について、事務局の説明を求めます。 引き続きまして13ページをお開きいただきたいと存じます。財団法人藤沢市青少年協会平成14年度事業計画について、御説明申し上げます 一般会計では青少年国際化推進事業をはじめ7事業を計画し、特別会計では放課後児童健全育成事業を前年度に引き続き計画し、あわせて8事業を計画しております。これらの事業に要します予算内容等は一般会計、特別会計のおの事業計画説明資料に記載のとおりでございます。</p>
<p>委員長 = =</p>	<p>なお、参考資料といたしましては、財団法人藤沢市青少年協会の運営組織、事務局組織、職員の配置状況、また一般会計及び特別会計の前年度予算増減対比を記載させていただきました。この予算の策定に当たっては藤沢市と同様、前年度対比5%の削減を基本といたしましたが、一般会計では8月にオープンする辻堂砂山児童館職員あるいはそれに伴う指導員の配置のために若干の増となっております。また特別会計においては児童クラブの人件費が主な増の理由でございます。</p>
<p>委員長 生涯学習部参事</p>	<p>19ページ、19ページ裏面には当法人の理事会及び評議員会名簿を添付させていただきました。以上、簡単でございますが財団法人藤沢市青少年協会平成14年度事業計画についての説明を終わらせていただきます。 事務局の説明が終わりました。御意見・御質問がありましたらお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>青少年協会というのは収入が余り望めないということで苦労なさっていると思うのですが、今後、このことを考えるとある程度収入ということを考えなければいけないだろうと思うのです。それで伺いたいのですが会費収入の中で、賛助会員会費収入というのがございますけれども、これはどのような方々が賛助会員になっているのか。また、収入の道をお考えになる工夫をなさっているのか、伺いたいと思ひます。 一方、支出の方で助成金支出というのがございますけれども、助成金支出はどのような団体に支出されているのか。分類別で結構ですから、伺いたいと思ひます。 まず1点目の会費収入でございますが、記載のとおり賛助会員会費収入として平成14年度は250万円を計画しております。前年度につきましては、個人あるいは事業者そして会社といったところから予算とは若干少な目でございますけれども、208万円の協力をいただきました。特に会費の内訳としては個人会費が、前年度の場合93万5,000円、これは市役所の職員とか校長先生等が今のところ中心であることは否めないと思ひます</p>
<p>委員</p>	<p>そのほか事業者の関係は、事業者が賛助会員になるためには5,000円の会費というのが一つございますけれども、これについてはロータリークラブ、青年会議所あるいは藤沢市商工会議所青年部を中心に、もちろん企業回りもいろいろしてございまして、企業の関係については1口5万円というようなことがございます。したがって、今、不景気の最中でございますけれども、今年度も250万円の予算を組んでございまして、引き続き積極的に事業の充実・拡大を図っていくためにはみずからの自主財源の道を開いていかなければいけない。そういう面では、これから外に向かって呼び</p>

生涯学習部参事

かけをしながらやっていきたいと思っております。

それから2点目の助成する団体ということですが、これにつきましては特にSL少年団とか科学少年団とか幾つか育成の一つとしての青少年団体や青年の団体あるいは青少年育成団体などがございます。

助成金のことですが、各団体から事業計画のようなものを出してもらって、それを審査して助成金を出すというような形をとっているのか。

これは市の仕組みと同じでございますが、当然その年度にどのような事業をやりたいのかという補助金の申請書を出していただきます。それを審査した後に助成金を交付し、事業が終了すれば、その事業報告を受けております。

青少年施設管理運営事業ですが、今年度から学校で週5日制が完全に実施され、前年度より5%の予算が削られていますが、子どもたちの遊ぶ場所について支障は起きないですか。

もう一点は放課後児童健全育成事業ですが、受益者負担の状況がどのようになっているのか。また、児童クラブで受け入れる児童数について、この5年間でどのくらいの数を見込んでおられるのか、その辺のところを教えてくださいたいと思います。

1点目については生涯学習部全体の課題と受けとめておりますのでお答えさせていただきます。この秋口から生涯学習部事業をできるだけ土曜日の午前中に変更をしていけないかということやスポーツ課の各施設や図書館、公民館に検討させ、また青少年課の事業、児童クラブなども土曜日の午前中に変更できないか、新たに土曜日の午前中に展開ができる事業がないか、限られた予算の中でも創意と工夫を持って検討していきたいと思っておりますので、よろしく願います。

委員

生涯学習部参事

放課後児童健全育成事業の関係につきましてお答えさせていただきます。今後の学童クラブ入所児童数ですが、入所率推移7.7%は全児童数の7.7%ということでございますが、今後の推移につきましては、児童数の推移から見て平成18年ごろがピークで7.8%ぐらいになるのではなからうか。それでいきますと1,580人ぐらいの児童の対応をしていかなければいけない。

委員

それから市の負担と保護者負担はどうあるべきかということになるかと思いますが、平成14年の予算書で言いますと、市の委託料は50.1%、保護者は49.9%、おのおのがフィフティ・フィフティで運営を図っているということでございますので、今後はやはり負担のあり方等についても見極めながら対応等を図ってまいりたいと思っておりますので、よろしく御理解いただきたいと思います。

生涯学習部長

一番弱い子どもたちのところにしわ寄せがいきますので、また予算が削られ、また次年度はもっと予算が削られると、もっと状況が悪くなるのではないかという機運がありますので、一生懸命頑張っていることはよくわかるのですが、続いてよろしく願います。

生涯学習部参事

先ほど質問した賛助会員会費のことですが、実は若いお母さんたちで、かつて児童クラブに預けて子育てをやった経験を持っている人たちに聞きますと、何が一番役に立ったかという、児童クラブほど役に立ったことはないという思いが非常に強いのです。今現在は子育ては終わっているけれども、自分が子育てのときに非常に役に立ったと。そういうようなことを考えますと、もう少し別の視点からPRすることによって子育てを支援していくために、若い世代をかつての子育てOGたちがそれを助けていくというような精神的なものを盛り上げることによって、賛助会員会費をふやす可能性は仕掛けによっては出てくると思っておりますので、もうちょっと夢のある方向で、収入を確保する道をお考えいただきたいと思います。

わかりました。

学童クラブに特別指導学級の子どもたちが入っていないという状況を知りまして、その子たちも入れるような方向を目指してほしいということ

委員	<p>お願いしたいと思います。</p> <p>障害者の入所につきましては、平成13年度については13名程度の受け入れをさせていただいております。もちろんこれは障害の程度等、特に指導員につきましても、専門的な知識をすべて持ち合わせているものではございません。そういう中で入所の条件としては食事とか着替えなど、自分のことをある程度独力で行うことができるような児童等と考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>現状のそういう枠は伺っておりますけれども、そういう子こそ本当は大変なのです。その辺を理解していただいた上で、なるべく広く入れていただく方向を目指していただきたいと思います。</p>
	<p>私も同感です。障害を持った子をみんなでカバーしてあげるのは当然のこと、それが忘れられている。これは大変だと思います。時間もかかることかと思っておりますけれども、それをやってこそ明るい社会ができていくのではないかと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。</p>
生涯学習部長 委員	<p>少しずつでも障害児のそういう対策が青少年行政の中で推進いたしますように努力をしてまいりたいと思っておりますので、今後も御理解と御協力をいただきたいと思います。</p> <p>ほかにありませんか。</p> <p>ないようですので、この件を了承することにいたします。</p> <p>=====</p>
生涯学習部参事	<p>最後に、(4)財団法人藤沢市スポーツ振興財団平成14年度事業計画について、事務局の説明を求めます。</p> <p>財団法人藤沢市スポーツ振興財団平成14年度事業計画について御説明いたします。事業計画説明書といたしましては、議案書20ページから20ページの裏面となっております。説明資料は21ページから24ページとなっております。最初に20ページをお開きください。財団法人藤沢市スポーツ振興財団平成14年度事業計画説明書に基づいて、説明させていただきます。</p>
委員	<p>当法人は、平成12年12月に設立いたしまして、平成13年度から本格的に事業を開始し、本年度は事業開始から2年目ということで、前年度の事業を見直しながらかかりと足を据えて、設立趣旨に沿えるような事業を展開したいと考えております。まず予算概要ですが、一般会計は主として財団の運営管理に要する経費で、特別会計のスポーツ事業特別会計は、スポーツ施設の効率的な運営管理及び各種スポーツ教室や大会等の事業に要する経費、また物品販売事業特別会計は、スポーツ施設における利用者の利便向上のための物品販売等の事業を行う経費でございます。</p>
委員	<p>予算内容等につきましては、一般会計、特別会計おのこの事業計画説明資料に記載のとおりでございます。</p>
生涯学習部長 委員長	<p>また24ページの裏面から25ページの裏面につきましては、財団の組織運営や事務局組織並びに現在の職員の配置状況そして財団の役員、評議員の名簿でございますので、御参照いただきたいと思います。</p> <p>以上で、財団法人藤沢市スポーツ振興財団平成14年度事業計画についての説明を終わらせていただきます。</p>
= = 委員長	<p>事務局の説明が終わりました。御意見・御質問がありましたらお願いいたします。</p>
スポーツ課主幹	<p>先ほどの青少年協会もそうだったのですが、スポーツ振興財団についても収入の道をもっと考えてもいいのではないかと思います。その一つの考え方として、今まで学校スポーツとか企業スポーツがスポーツを考えるとときにメインだったのですが、サッカーをはじめとして、これからは地域の</p>

	<p>スポーツということに全体的になろうかと思しますので、この賛助会員をサポーターという形に組織化することによって、サポーターから会費を集めるというような仕かけを考えることによって、収入が上がるということもあるかと思しますので、これは市民全体でスポーツ振興をやっていくということからも、このサポーター制度は、サッカーに見るまでもなくこれからの主流だと思しますので、ぜひこの点を収入の道を考えるときの一つの御参考にしていただければよろしいのではないかと思います。</p> <p>会費収入の昨年度の実績といたしましては、個人会員から15万4,000円、企業等団体会員から36万4,000円、トータル51万8,000円の収入を得ております。主な目的は当然スポーツ振興ですが、特にあすを担うスポーツ青少年の育成のために使わせていただくという趣旨を持っております。これからも自主財源の確保に努めてまいりたいと思しますので、よろしく御理解いただきたいと思います。</p> <p>ほかに御質問・御意見がありましたらお願いいたします。 ないようですので、この件を了承することにいたします。</p> <p>=====</p> <p>以上で、本日、予定いたしました案件はすべて終了いたしました。 次回の定例会の期日を決めたいと思します。6月14日(金)午後2時から、場所は職員会館3階第4・5会議室において開催ということでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>(「異議なし」の声あり)</p>
<p>委員</p>	<p>それでは、次回定例会は6月14日(金)午後2時、場所は職員会館3階第4・5会議室において開催いたします。 以上で、定例会を閉会いたします。 午後3時41分 閉会</p>
<p>スポーツ課主幹</p>	
<p>委員長</p>	
<p>委員長</p>	
<p>委員長</p>	